

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
ポートフォリオ制作											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	鹿嶋 マルガリータ			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
大学ではヴィジュアルコミュニケーションデザインを学び、現在は平面のデザインだけでなく、空間のデザインも手がけることが多い。この授業ではIllustrator・Photoshopをゼロから学んでいくため、分かりやすさを心掛けている。ツールとして操作方法を習得するだけでなく、デザイナーとして自分の個性を表現することができるように授業を展開している。											
授業概要											
就職活動に有効な完成度の高いポートフォリオを作成し、社会にプレゼンテーションできるようにする。今まで制作した作品を把握して、ブラッシュアップしてより良い作品へとまとめていく。プロのクリエイターになる(就職)という確かな目標のために必要な重要書類が求められる為にファイリングしてプレゼンテーションまでできるようにする。											
到達目標											
自身の作品と向き合い、どのように手直ししてブラッシュアップするかをスケジュールや作業効率も自ら考え、ポートフォリオを完成させることが目標である。就職活動に必要となるため、時間を決めたプレゼンテーションもできるようにする。											
授業方法											
この授業では、就職活動に重要となる書類の一つであるポートフォリオの制作を中心に行う。計画的に、今までの作品をブラッシュアップさせ、ページ構成していく。就職活動をする前にまとめ終わり、授業内でプレゼンテーションをすることで発表に関して自信をつけていく。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
より良いデザイン制作に必要な学生と教員間のコミュニケーションと、制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備をしっかりと行い、随時ブラッシュアップをしてより良い作品集にするという意欲を持って制作をしていく。 授業時間数の4分3以上出席しない者は合格することができない。A3のポートフォリオ用ファイルを用意すること。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション / ポートフォリオの重要性を理解する										
第2回	自分史の制作 1 / 自分分析										
第3回	自分史の制作 2 / ページのレイアウト										
第4回	ポートフォリオ制作 1 / ページ構成を考える、表紙・目次・プロフィールの作成										
第5回	ポートフォリオ制作 2 / 作品のブラッシュアップ、まとめ										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
ポートフォリオ制作	
第6回	ポートフォリオ制作 3 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第7回	ポートフォリオ制作 4 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第8回	ポートフォリオ制作 5 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第9回	ポートフォリオ制作 6 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第10回	ポートフォリオ制作 7 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第11回	ポートフォリオ制作 8 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第12回	ポートフォリオ制作 9 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第13回	ポートフォリオ制作 10 / 作品のブラッシュアップ、まとめ
第14回	ポートフォリオ制作 11 / まとめ、印刷してファイリング
第15回	講評会 / 自身の作品の最終プレゼンテーションを行う